景観定期定点写真

はじめに

○撮影の目的

・定期的に同一地点、同一方向から撮影することで、年代と共に移り変わる街なみの記録を残すとともに、今後のまちづくりに生かすことを目的としています。

主な撮影箇所

- 歴史景観重要道路
- 歴史景観重要道路に準ずる道
- みずの道・旧市街
- 海側
- 山側

平成26年度から上記の5か所を5年周期で撮影しています。
(5か所の撮影箇所の中で更に撮影ポイント(約50か所)を定めております。)



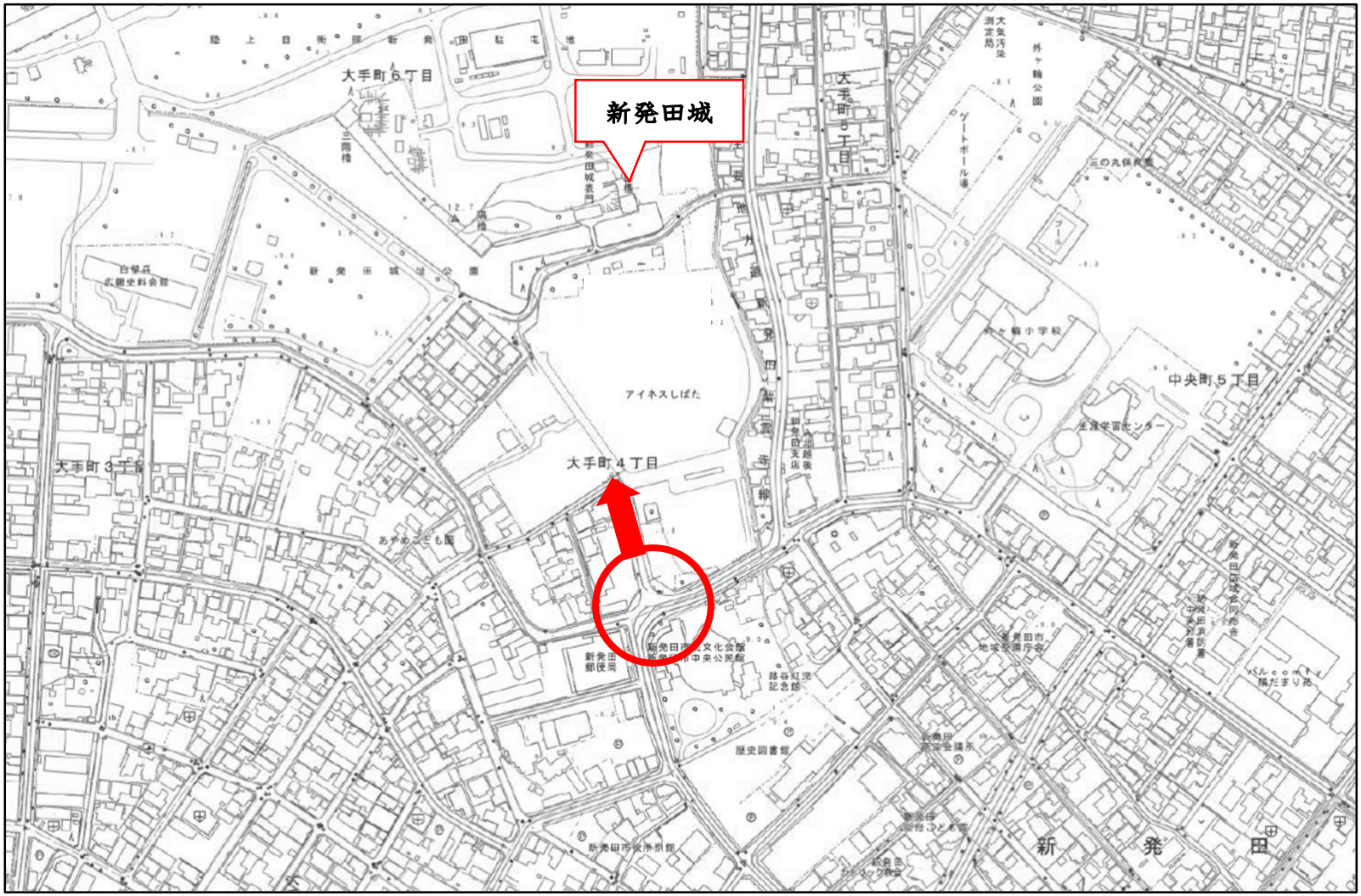
掲載箇所

撮影時期に違いはありますが、代表的な箇所を選定して通りから見た
景観の変化を比較できるよう以下の撮影地点を掲載しております。

○アイネスしばた駐車場付近(新発田市民文化会館側)　(P.5)
○アイネスしばた駐車場付近(JA北新潟 新発田支店側)　(P.7)
○新発田市民文化会館付近　(P.9)
○宝光寺付近　(P.11)
○清水園付近　(P.13)
○諏訪神社付近　(P.15)
○いいでの湯付近　(P.17)
○五十公野付近　(P.19)
○米倉付近　(P.21)
○山内口留番所公園付近　(P.23)
○赤谷郵便局付近　(P.25)
○菅谷不動尊付近　(P.27)

撮影地点

アイネスしばた駐車場付近(新発田市民文化会館側)の景観



【撮影時期】

令和元年5月



令和6年6月



解説	当該地は「歴史景観エリア(新発田城周辺区域)」に分類されております。 令和元年の写真右奥に緑屋根の特別養護老人ホームニの丸がありますが、令和6年の撮影時には解体されており、新発田城が見えやすくなっています。 また、写真の右側には、防災機能を備えた公園「アイネスしばた」が整備されています。

撮影地点

アイネスしばた駐車場付近(JA北新潟　新発田支店側)の景観



【撮影時期】

平成26年5月



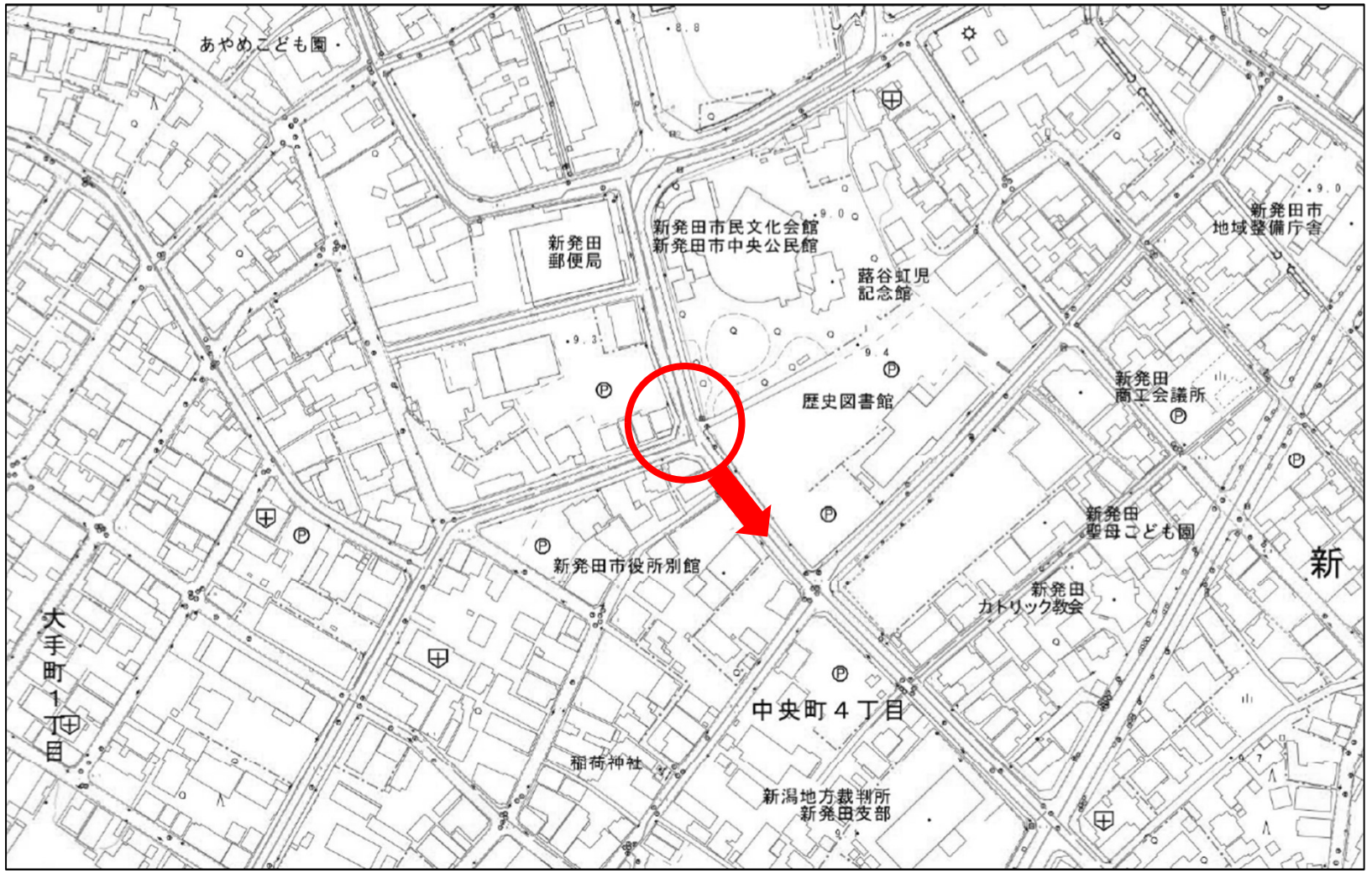
令和6年6月



解説	当該地は、「歴史景観エリア(新発田城周辺区域)」に分類されております。 工事中であった「アイネスしばた」の仮囲いが撤去され、整備された駐車場が確認できるようになりました。当該地は、歴史的な街なみを保全し、歴史的景観との調和を図るよう整備するエリアです。「アイネスしばた」は、防災東屋や井戸上屋には周囲の情緒に馴染む和風デザインが採用され、隣接するバス停も瓦を載せた和風の佇まいに統一されております。

撮影地点

新発田市民文化会館付近の景観



【撮影時期】

平成27年5月



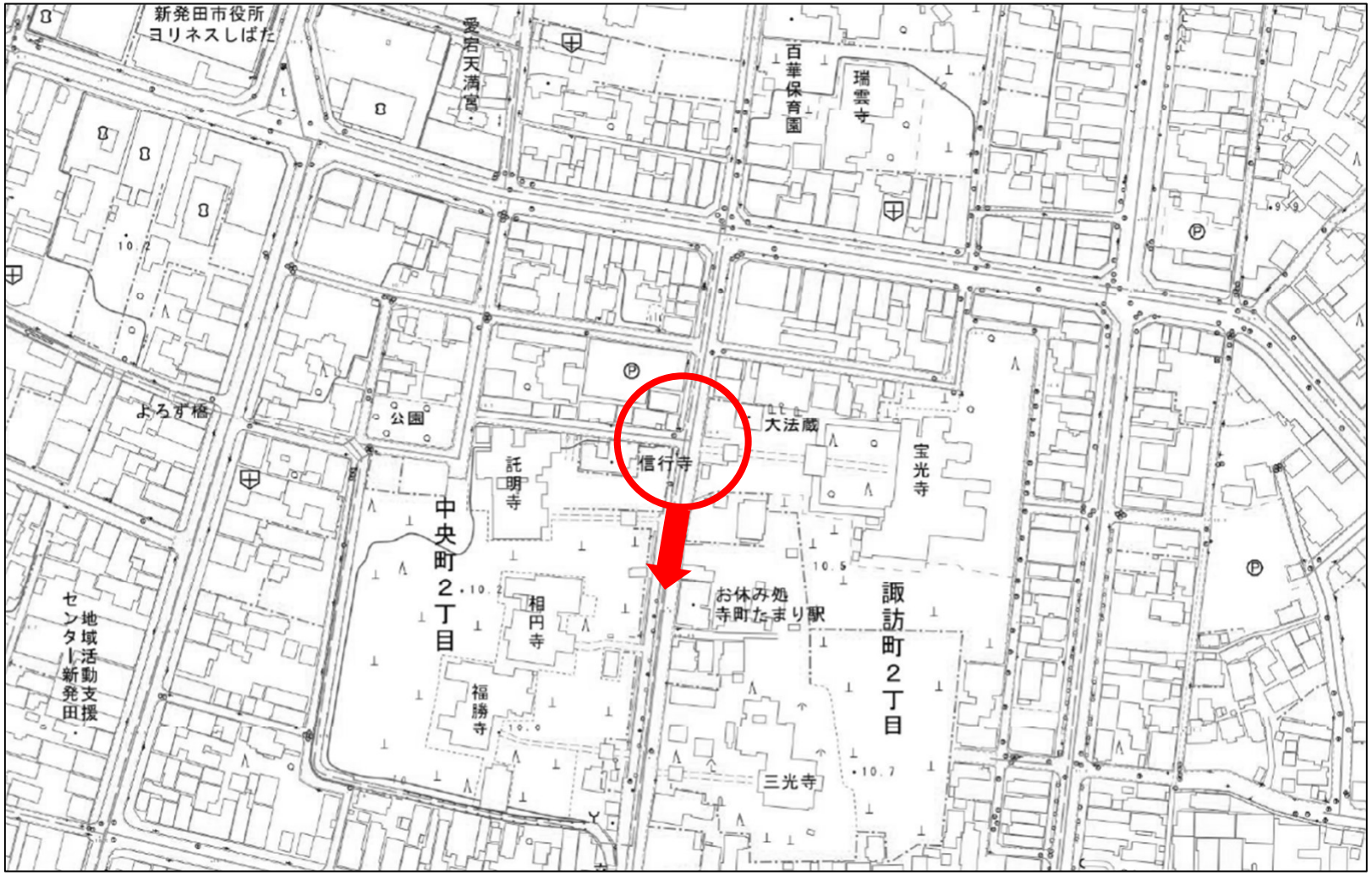
令和7年3月



解説	当該地は「歴史景観エリア(公共施設区域)」に分類されております。 平成27年5月の写真に映っている左奥の新発田市役所旧庁舎は平成30年に解体され、現在市役所第3・第4駐車場として供用されています。 旧庁舎が解体されたことで山なみが望めるようになりました。

撮影地点

宝光寺付近の景観



【撮影時期】

令和元年5月



令和7年3月



解説	平成13年から平成15年にかけて実施された街なみ環境整備事業(寺町・清水谷地区)により、寺町地区の道路が美装化され、平成14年には水路や植栽の整備も行われました。その後に策定した新発田市景観計画において、当該地は「歴史景観エリア(寺町・清水谷周辺区域)」に分類され、歴史的な街なみを保全し、歴史的景観との調和を図るエリアとなりました。また、写真右側の塀は、平成20年に景観形成支援補助金を活用して黒塀へと改修されており、周辺の板塀と調和した落ち着いた空間を形成しています。

撮影地点

清水園付近の景観



【撮影時期】

令和元年5月



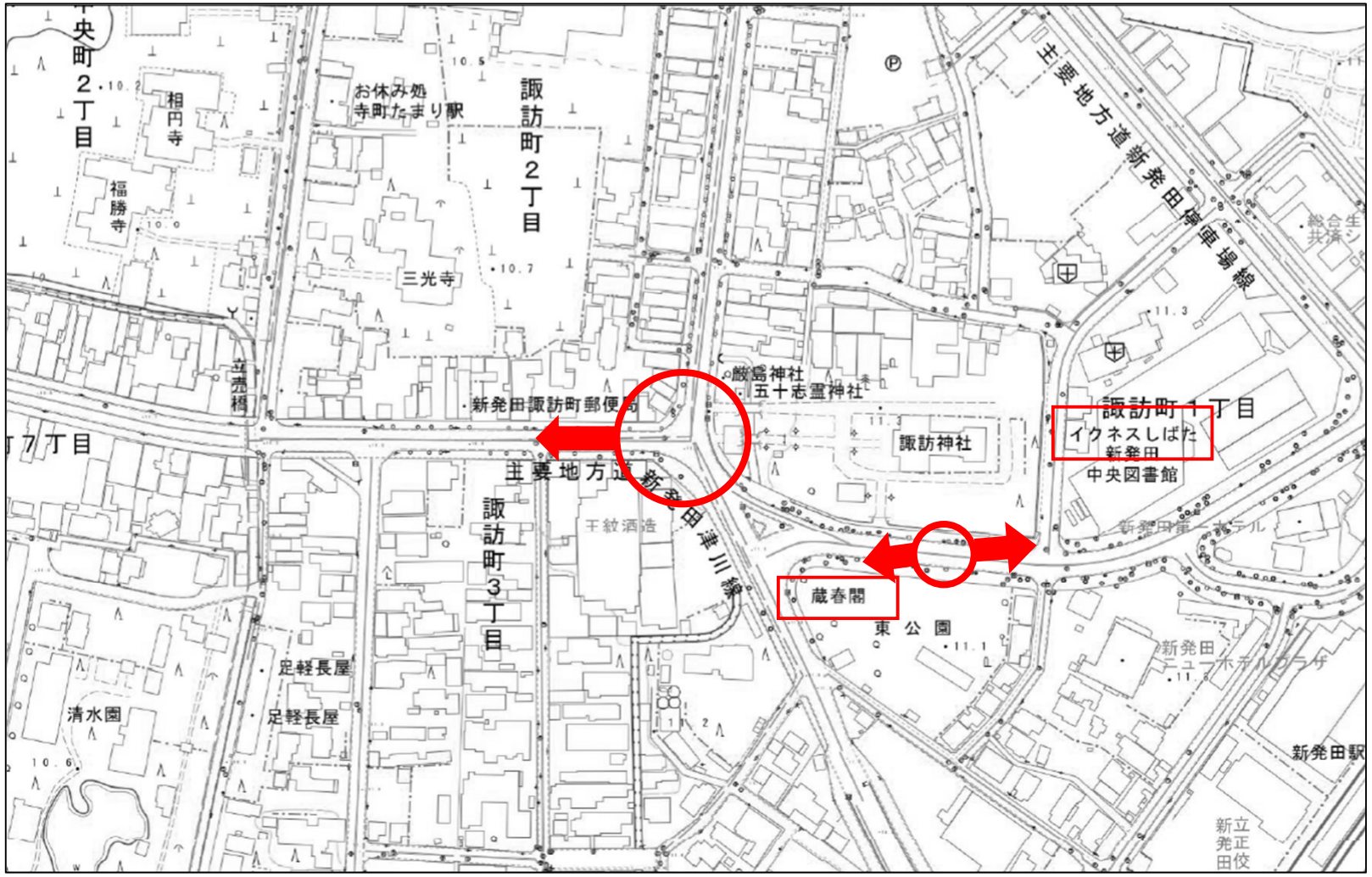
令和6年6月



解説	当該地は「歴史景観エリア(寺町・清水谷周辺区域)」に分類されております。 平成16年から平成27年にかけて街なみ環境整備事業(寺町・清水谷地区)の実施に伴い、道路の美装化と水路の改修が行われました。 写真右側はかつて新発田藩主の下屋敷であった清水園、左側には国指定重要文化財の足軽長屋があり、歴史的な景観と調和した空間へと整備されました。

撮影地点

諏訪神社付近の景観



【撮影時期】
平成27年5月



令和7年3月



解説	当該地は、「歴史景観エリア(寺町・清水谷周辺区域)」に分類されております。平成28年から平成30年に電線の地中埋設化が行われ、併せて街路灯の整備が行われました。 諏訪神社付近には、平成28年に子育て交流施設「イクネスしばた」が建築、令和4年には新発田市出身の実業家である大蔵喜八郎の別邸「蔵春閣」が移築され、中心市街地としての活性化が期待されます。

蔵春閣



イクネスしばた



撮影地点
いいでの湯付近の景観



【撮影時期】
平成28年5月



解説	平成30年度に、街なみ環境整備事業（水のみち地区）により、かつて住民の生活に利用されてきた新発田川の護岸や道路の美装化が行われ、石畳の趣きのある道が続いています。また、令和4年度から令和5年度にかけて川沿いに心地よい「親水広場」を整備しました。当該地は道路から左側が「歴史景観エリア(歴史周辺区域)」に分類されており、古くから残る街なみの落ち着きある景観を維持するため細やかな配慮のもとで整備が進められています。

令和7年3月(道路の美装化)

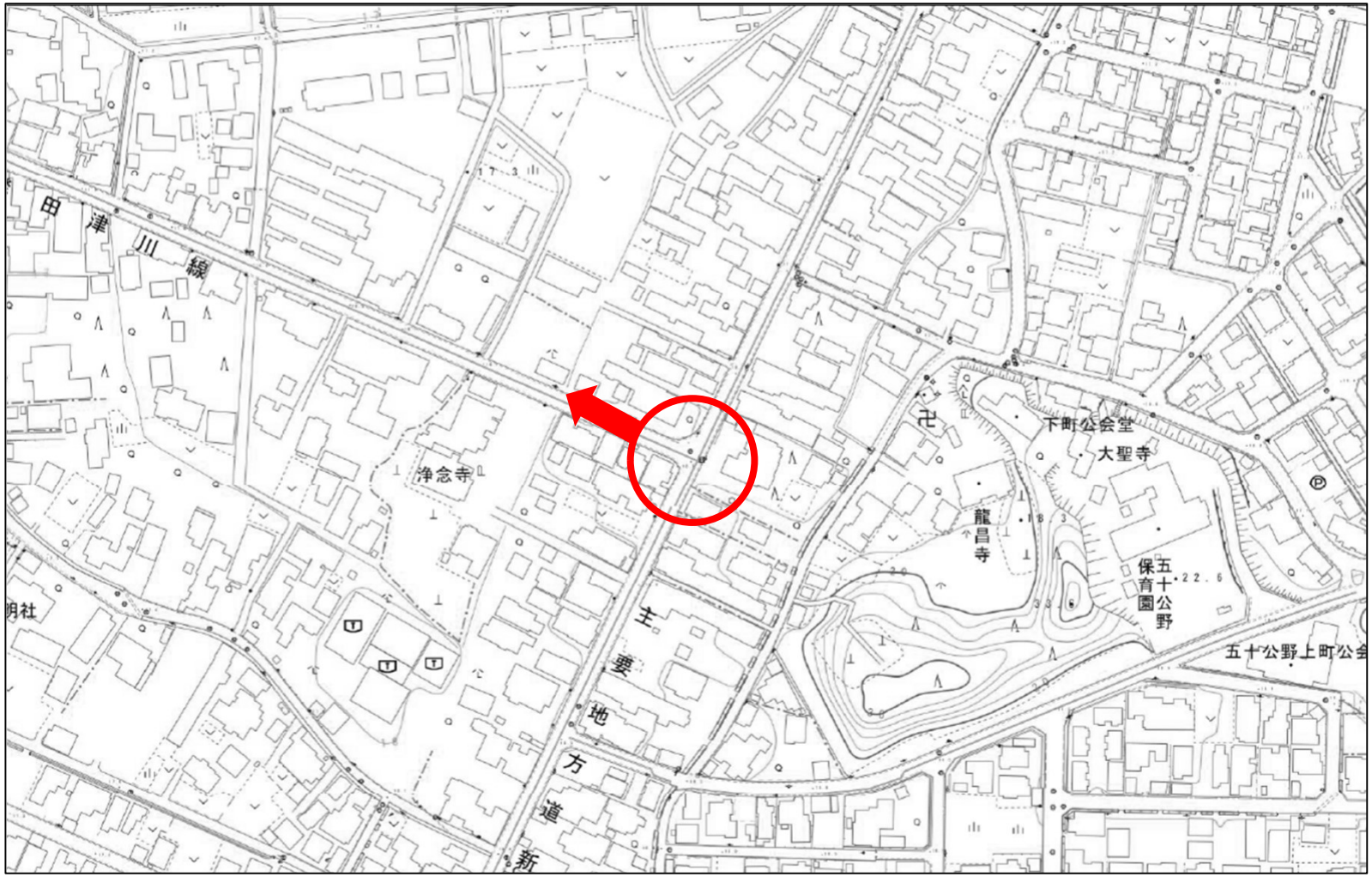


令和7年3月(親水広場・護岸の整備)



撮影地点

五十公野付近の景観



【撮影時期】

平成30年6月

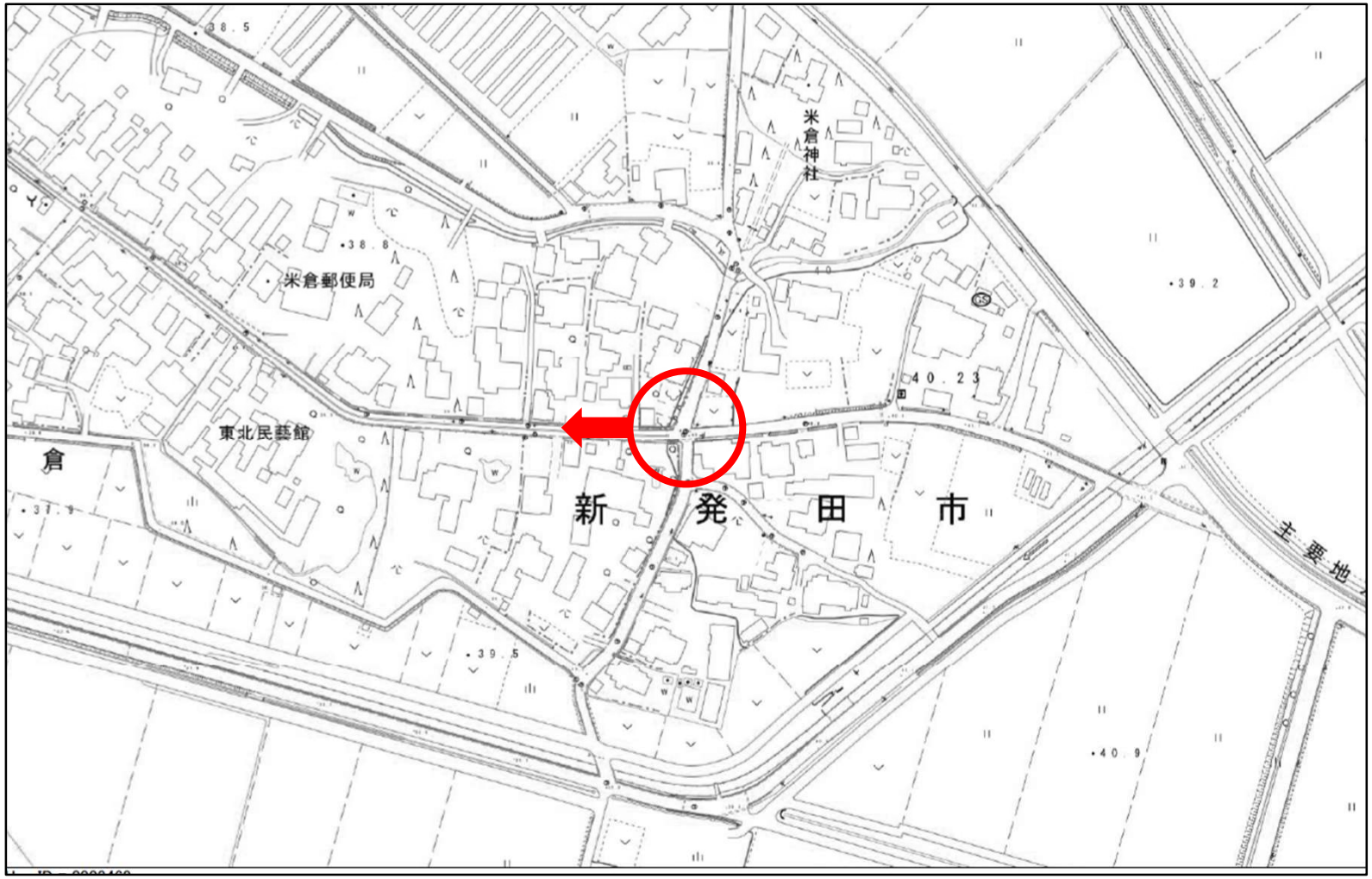


令和5年5月



解説	当該地は「歴史景観エリア(五十公野地区)」に分類されており、自然に囲まれた歴史ある風情を残すため、歴史的な街なみの保全と自然景観との調和を図る地域です。また、通りは旧会津街道にあたり、2階建て以下の勾配屋根を持つ住宅が建ち並んでいます。 付近には五十公野公園や陸上競技場があるほか、五十公野公園の裏手には五十公野山があり、昔ながらの街なみと自然豊かな景観が残っています。

撮影地点
米倉付近の景観



【撮影時期】

平成30年6月



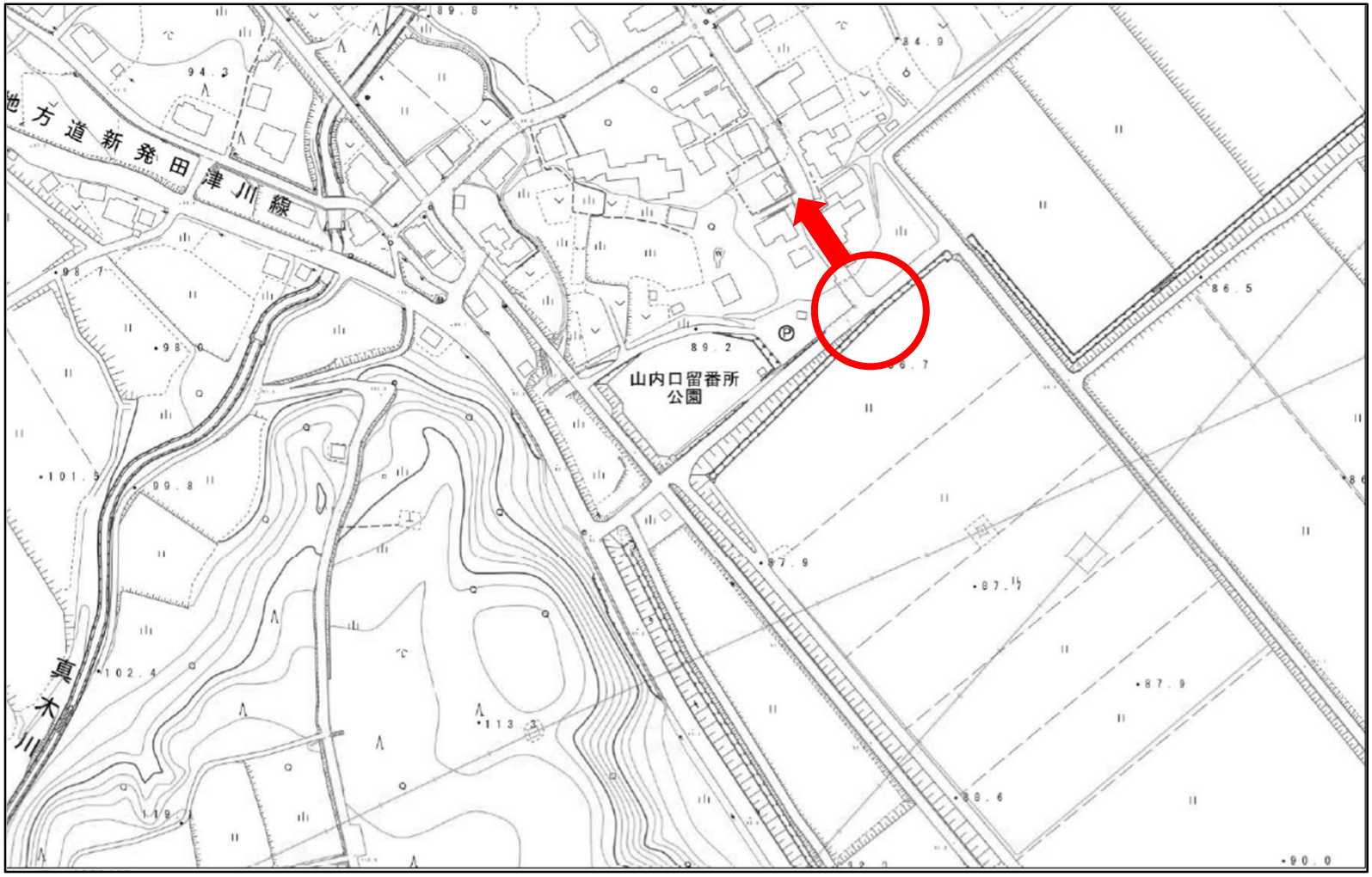
令和5年5月



解説	当該地は「歴史景観エリア(米倉地区)」に分類されており、自然に囲まれた歴史ある風情を残すため、歴史的な街なみの保全と自然景観との調和を図る地域です。この通りはかつて旧会津街道の宿場として栄えた歴史を持ち、クランク状の道路構造が残されています。また、敷地内に水路を引き込んだ家庭が多く存在する特徴的な集落であり、現在もその貴重な景観が維持されています。

撮影地点

山内口留番所公園付近の景観



【撮影時期】

平成30年8月



令和5年5月



解説	当該地は、「歴史景観エリア(山内地区)」に分類されており、自然に囲まれた歴史ある風情を残すため、歴史的な街なみの保全と自然景観との調和を図る地域です。かつては旧会津街道の宿場として整備され、藩境に位置する口留番所(くちどめばんしょ)があり、現在は番所跡の石碑が残されています。通り沿いは木造1・2階建ての建物が主で、主屋は前庭がなく道路に面して建っています。

撮影地点

赤谷郵便局付近の景観



【撮影時期】

平成30年6月



令和8年4月



解説	当該地は、「歴史景観エリア(上赤谷地区)」に分類されており、自然に囲まれた歴史ある風情を残すため、歴史的な街なみの保全と自然景観との調和を図る地域です。旧会津街道沿いに建ち並ぶ低層の住宅が、宿場としての歴史的景観の名残を形成しています。 平成30年6月時点の写真では、郵便局の野立広告物に色鮮やかなオレンジ色が使用されていましたが、令和8年4月時点の写真では、周辺景観に配慮した色彩へと変更されていることが確認できます。

撮影地点
菅谷不動尊付近の景観



【撮影時期】

平成30年6月



令和5年5月



解説	当該地は「歴史景観エリア(菅谷地区)」に分類されており、歴史ある街なみや山なみといった自然と調和した景観を保全する地域です。菅谷寺の門前道沿いには、住宅や店舗、旅館が建ち並んでいます。平成30年6月時点の写真では画面左側に山への眺望を妨げる高層鉄塔が確認できますが、現在はそれが撤去され、周辺の山なみの見通しが良くなっています。